

一般質問 その後を追跡!

Vol.19

2023年1月発行【発行・編集】鷹栖町議会




議員が行った一般質問が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後を追跡しました。追跡する質問は事業に結びついたものや町民の方の関心の高いものという視点で広報広聴常任委員会で選んでいます。

今回は2021年中の質問を追跡しています。この期間の議会報は182号～185号です。表紙のテーマは「輝く女性」でした。



一般質問の事前動画を配信はじめました

定例会前に一般質問の内容を質問議員が1分以内で語る動画を配信しています。ぜひご覧ください。




YouTube

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

連絡先 鷹栖町議会事務局

☎ 0166-74-3660

gikai@town.takasu.lg.jp



メール

SDGs SDGs(持続可能な開発目標)の取り組み 発信を

2021年6月 大石 隆議員

議会報183号に掲載

本町のSDGsの取り組みを町内外に向けて積極的に発信しては。

8総と照らし合わせ事業を展開(町長)

第8次総合振興計画の目標と照らし合わせながら個々の事業を展開し、SDGsの理念を発信していきます。

追跡! 広報やSNSで発信中
ゼロカーボンも目指す


- 広報やSNSでは、町の取り組みをSDGsと関連付けて紹介しています(鷹栖町SDGsニュース)。またセミナーなども開催しています。
- 令和4年6月にゼロカーボンシティたかす宣言(目標07「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と目標13「気候変動に具体的な対策を」に関連)を行いました。

防災

今後の消防団員の待遇と在り方は

2021年3月 沢口 仁議員

議会報182号に掲載



消防団の年額報酬は比布・当麻・愛別より低い。一般団員の報酬について非課税で済む範囲内(年5万円)まで引き上げを検討しては。

検討を進めたい(町長)
近隣消防団の活動の実態や動向を確認しながら検討を進めたいと考えています。

女性団員の採用は
女性消防団員の採用についての考えは。

ご意見をいただき検討をしていく(町長)
町の実情を踏まえ、消防団、消防後援会や幹部会議、地域住民のご意見をいただき、女性団員の採用も含め、検討をしていきます。

追跡! 出動手当・年額報酬を増額
個人支給されるように

- 令和4年から出動手当1回4時間6000円から1日あたり8000円に増額しました。
- また団員階級の年額報酬は3万5000円から3万6500円になり、個人支給されています。


追跡! 女性団員採用へ!
令和5年から女性団員を採用
活躍できる環境を整えていく

- 令和5年度からの女性消防団員採用に向けて必要な例規改正を行います。女性団員が活躍できる環境を整えていきたいと考えているとのことです。

防災に女性の視点を

2021年12月 斉藤 哲子議員

議会報185号に掲載



本町の防災計画策定時に女性はどの程度関わっていますか? 女性参画の取り組みは。

令和4年度中には取り組む(町長)
地域防災計画を策定する地域防災会議は22名中女性が1名です。女性の参画率が極めて低い課題に対し、令和4年度中には取り組みます。

再追跡 2018年12月
自主防災組織の整備は

- 現在、町内5地区で設立を目指している地域運営組織に自主防災組織の機能を組み込むことをそれぞれの地区で検討中です。

追跡! 防災訓練には女性視点を
必ず入れるようにしている

- 地域防災会議の構成に変更はありませんが、防災に女性視点が不足していることは認識しています。公民館事業として実施した防災訓練では女性視点を必ず入れるようにしています。



消防団員は現在71名います

ごみ ごみの減量化、どのように

2021年3月定例会では片山議員がごみ減量に対する姿勢を、12月定例会では川原議員がゼロウェイスト宣言をする考えを質問しました。鷹栖町では令和5年度末までに、ごみ排出量を1人1日700グラム、燃やせるごみの量を1人1日285グラムにと、具体的な減量目標を掲げています。

ごみ問題は総務文教常任委員会の令和4年の調査研究テーマ

委員会として、ごみ処理場での分別体験やごみ問題についての懇談会を開催しています。



追跡! コロナ禍で総排出量は増加 今後も周知・啓発を継続

● 令和3年度は燃やせるごみは減少しましたが、ごみの総排出量は増加しています。

【ごみの総排出量】
1人1日859グラム（前年度比 +44グラム）

【燃やせるごみの排出量】
1人1日315グラム（前年度比 ▲9グラム）

● 新型コロナの影響で在宅時間が増えていることが総排出量増加の大きな要因と考えています。目標の達成に向けて、ごみに関する出前講座を積極的に行っており、折込チラシなどと併せて今後も周知・啓発を行っていきます。

目標!
1人1日ごみは700グラム
燃やせるごみは285グラム

定住 目指せ! 地域おこし協力隊員の定住



2021年6月
片山 兵衛議員

議会報183号に掲載



地域おこし協力隊員の任期終了後の起業・事業承継への支援を早急に制度化すべきでは。

制度化を進めたい(町長)

希望する隊員がいる場合は、町としても制度化を進めていきたいと考えています。

就農希望者の隊員採用を

地域おこし協力隊制度を就農希望者に適用することで、有利な形で就農実習ができるのでは。

慎重に研究を進める(町長)

検討しましたが、農業技術、農業経営を学ぶことに集中し、早く独立できるよう農業次世代人材投資資金を活用しています。慎重に研究を進めたいと考えます。

追跡! 1名が起業支援補助金を利用して起業

● 令和3年12月の第4回定例会で地域おこし協力隊起業支援補助金が追加されました。

● 今までに4名が地域おこし協力隊を卒業。3名が鷹栖に定住し、うち1名が地域おこし協力隊起業支援補助金を利用して起業しています。

追跡! 令和4年度から制度を活用 2名が研修中

● 令和4年度から地域おこし協力隊制度を活用した研修生の受け入れを開始し、現在2名があつたかファームで研修中です。

子育て

保育園、維持か統合か 将来像は



2021年12月
青野 敏議員

議会報185号に掲載



北野保育園と鷹栖保育園を維持するのか、統廃合により総合的な保育環境を整備するのか、将来計画策定の考えは。

仮称「子育て未来会議」で検討(町長)

令和4年度、仮称「子育て未来会議」を開催し、両保育園の今後について検討を進めます。

小学校の将来像は

教育環境の充実に向け、北野・鷹栖小学校の統廃合の協議が必要では。

検討委員会で検討(教育長)

教育委員会の責務として保護者や地域住民、学校、行政が一体となって取り組む必要があると考えます。令和4年度、仮称「鷹栖町立学校の在り方検討委員会」を立ち上げ、将来を見据えた教育環境について調査、検討します。

子供の居場所、充実させるには



2021年3月
川原 允議員

議会報182号に掲載



子育て世代包括支援センターでは0歳から18歳までを支援の対象としているのが特徴です。中高生との日常的なつながりをつくるのが課題とされていますが、本町での取り組みは。

地域資源を活かし取り組む(町長)

本町には学童保育所が5カ所あります。町の地域資源を生かした取り組みを進めていきます。

追跡! 子育て未来会議を設置 4回の会議を実施

● 令和4年6月に「鷹栖町子育て未来会議」を設置し、子育て支援の現状や町行政サービス状況についてのグループワーク、施設見学など計4回の会議を開催しています。引き続き検討を進めていくとのことです。

追跡! 町立学校の在り方検討委員会 5回の委員会を開催

● 令和4年6月に「鷹栖町立学校の在り方検討委員会」を設置し、児童生徒数の推移や学校施設の現状説明のほか、両小学校の学校見学など、これまでに計5回の委員会を開催しています。引き続き、児童生徒にとって望ましい教育環境や学校の在り方について議論を深めていく予定です。

追跡! 相談しやすい体制整う 切れ目のない支援体制も

● 子育て世代包括支援センターでは令和3年度720件、令和4年度は9月末までに427件の相談がありました。月当たりの相談件数は増加傾向にあり、相談しやすい体制が整ってきていると言えます。

● 子ども家庭相談員兼スクールソーシャルワーカーが在籍、就学前後での切れ目のない支援体制をとれるようになっています。